

第3回までの経営審議会意見等の反映状況

ビジョンの修正項目	箇所数	意見番号 内容 修正ページ			
第2章の課題が、第3章のどの施策に示されているかを付加。	1	No.45(目次、p.24)			
第2章の課題が、第3章のどの施策に示されているかを付加。 中でも重要な施策を抽出し付加。	1	No.37(2章の末に追加)			
中でも重要な施策を抽出し付加。	1	No.43(2章の末に追加)			
具体的な方法を整理し追記。	2	No.35 末端水質(p.49)	No.27 有収率(p.81)		
行っていることを記載(委員長より)	5	No.39 下水排除規制(p.37,59)	No.41 雨水浸透(p.56)	No.24,38 未接続(p.60)	No.40 不明水(p.81)
図を修正(PDCAの図の対応)	1	No.30(p.50)			
用語集への記述	2	No.31,32(資料編)			
現状にグラフを追加	1	No.26(p.26)			
水源系統図を追加	1	No.10(p.7)			
特になし	33				
総計	48				

No.	回	目次	頁	意見等・質疑内容	審議会での対応	ビジョンの修正
23	2	2.2.3 持続性の確保	43	グラフでは、収入が減りながら支出がずっと一定になっている。維持管理や更新が必要でありながら、支出が一定になっているのは少し不自然な気がするが。	維持管理費の支出を表しており管の更新や入れ替え費用とはまた別の話である。	特になし
24	2	2.2.1 生活環境の改善と向上	35	現在把握している中で下水道が整備された地域における未接続の件数やその理由はどのようなものか。	平成29年10月25日現在の下水道の接続状況のデータを報告。未接続の理由は、市街化調整区域では、すでに設置されている浄化槽がまだ丈夫で、それが壊れるまでは接続しないということがある。さらに、受益者負担金の支払いや接続に係る工事費といったお金がかかることから、接続率が上がらない状況だと思われる。	行っていることを記載（委員長より）
25	2	2.2.1 生活環境の改善と向上	35	浄化槽もなく、公共下水道に接続もせずに川へ垂れ流しているような家庭もあるように聞いているが、どの程度把握されているのか。	現在のところ、そういったケースは把握していない。	特になし
26	2	2.2.3 持続性の確保	43	・下水道の有収率は記載されていて、水道の有収率のグラフが入っていない。（意見）	未回答	現状にグラフを追加
27	2	2.2.3 持続性の確保	43	下水道の有収率について、全国平均と比べるとこれは異常である。過去から対策がなされていないということではないか。	私どもも大変大きな課題として捉えている。今後、老朽管の更新と併せて管の入れ替え、あるいは更生を行っていく中で改善を図っていきたい。また、明らかに不明水が浸入しているような箇所については、積極的に対応していかねばならない。	具体的な方法を整理し追記。
28	2	2.2.3 持続性の確保	43	不明水の量は、同規模都市と比べて、川越市は10%程度多いということか。	他市に比べると、下水道に対する有収率は若干よくないというように認識している。	特になし
29	3	3.2.1 安全	49	・見方を教えて欲しい。例えば49ページを見ると、上部にある3.2.1の隣に、四角で囲ってある「安全」が48ページの基本体系の表内で言う施策方針で、「(1)水質管理」が基本施策で、「1)水質管理体制の強化」が事業で、「具体的取組」がPDCAのD、「評価指標」がCにあたるということによるのか。	見方は、ご理解の通り。4章の進行管理で再度説明する。	特になし
30	3	3.2.1 安全	50	・50ページに水安全計画のイメージとあるが、これはイメージの図なのか。きちんとした計画のように見えるが。	水安全計画は法に従ったもの。イメージを取る。	図を修正（PDCAの図の対応）
31	3	3.2.2 循環	57	・「NOx」等の用語は、市民が解っているという前提か。	専門的な用語については用語集を作成します。	用語集への記述
32	3	3.2.2 循環	58	・58ページにあるブロック化というのがどういふものか分からないため、教えていただきたい。	水道管の管網が市内に蜘蛛の巣のように配置されている。シミュレーションから3つのブロックにすることで、震災対策、電気効率の効果が、見込める。	用語集への記述
33	3	3.2.1 安全	50	・水安全計画運用の具体的取組の中で、水安全計画運用会議とあるが、これは事務局が行うのか。誰が中心となって行うのか。	事務局を上下水道管理センターとし、関係する課で運用しています。	特になし
34	3	3.2.2 循環	57	・各種の環境対策の具体的な取組に関連して、川越市上下水道局または市でも構わないが、電気自動車は所有しているか。	市として2台所有しています。上下水道局では0台です。	特になし
35	3	3.2.1 安全	49	・評価指標の目標欄に平均残留塩素濃度が0.1以上0.4以下と記載がある。それに関する具体的取組が、「残留塩素濃度の平準化・低減化を図ります」となっているが、低減化を図るための具体的な説明になっていないように思われるのだが。	法律上、末端において0.1mg/l以上おいしい水が0.4mg/l以下になるように塩素注入量を調整する方法を検討。具体的な方法は、	具体的な方法を整理し追記。
36	3	3.2.1 安全	51	・小規模貯水槽の検査についてだが、点検・検査受検率2.9%というのは、全国平均で言うともいふ方なのか少ない方なのか。また、年に1度の点検・検査の受検率が2.9%なのか。	埼玉県資料で10市調べたものありまして、全体で2.4%です。低いところは川口市1.4%、高いところは草加市4.3%です。点検検査は年1回受けたものです。	特になし
37	3			全体を通して課題が多すぎると感じる。問題だらけの組織である。施策と課題がつかない。長期なのか短期なのか、重要度が高いのか考慮して整理すべき。	未回答	第2章の課題が、第3章のどの施策に示されているかを付加。 中でも重要な施策を抽出し付加。
38	3	2.2.1 生活環境の改善と向上	35	・具体的取組にある接続指導を強化しますという部分については、具体的に今何をしているのか。結局、未接続の問題はずっと変わっていない。対策指数などを設けてやっているのか。	3年以内の接続をお願いはしているが、罰則規制はない。お願いに止まる。（下水道課長）	行っていることを記載（委員長より）
39	3	2.2.1 生活環境の改善と向上	37	・排水規制については、下水道基準等に適合していない特定事業者が依然として6~7%ありますと書いてあるが、それらの事業所を指導していないのか。今後の課題にしている場合ではないと思う。	年2度の指導はしている。（センター長）	行っていることを記載（委員長より）
40	3	2.2.3 強靱	81	・不明水についても先日挙げられた課題にあったが、それも含めこの3つの事業について、方向性は記載されているが、実際どのようなことをしているのか教えていただきたい。	原因については、調査を行っている。また、県が調査するので、併せて進めて行く。昨年の台風21号に関連する箇所も調査している。	行っていることを記載（委員長より）
41	3	3.2.2 循環	56	・「雨水浸透のイメージ」から市民は何を貢献できるかわからない。新築の家には義務付けセットで売るといふような働きかけをすべきでは。具体的に。	500m ² 以上の民間開発については、強制的に設置、個人によるものは、強制力はないものの補助を出して進めている。（下水道課長）	行っていることを記載（委員長より）
42	3	3.2.2 循環	58	・配水エネルギーの低減化に効果のある泉水の直送方式とあるが、先程のブロック化に関連してこういうことがありうるかと理解してよろしいか。	それぞれ別の取り組みである。落差発電も今後の検討すべき内容である。	特になし
43	3			・課題にどういふ風に取り組むのかというのが見えづらい。その原因は、国から上下水道ビジョンの策定を指示され、おおよその枠組みが決まった状態で策定しているため、一般的な話と川越市特有の事情に基づく課題とが一緒になっていることにあると思われる。そこで、地理的状況や湧水などを含めた川越市に特徴的な部分や、また、川越市で既に行っていることと、それに対する課題や成果に対する言及や分析等がもう少し記載されると分かりやすいのではないだろうか。そんな感想を持った。	未回答	中でも重要な施策を抽出し付加。
44	3	3.2.2 循環	60	・生活排水処理の適正化というテーマの中で、市街化調整区域の下水道整備について、従来と方向性を変えるのか、それとも従来と一緒なのかという部分だ。	基本的な考え方としては、既認可区域については、実施する予定である。それ以外については、環境部と調整しながら検討して行く必要があるかもしれない。	特になし
45	3	3.2 上下水道事業の基本体系	48	・経営基盤がしっかりしていないと、耐震化も維持管理も出来ない。官民連携も維持管理につながるし、基本体系の関連がわかりにくい。他の整理が出来ないだろうか。	各事業にはそれぞれその目的、効果があります。事務局においても市民に伝わりやすいものはどのようなものか議論した結果であるので、ご理解いただきたい。	第2章の課題が、第3章のどの施策に示されているかを付加。
46	3			・もともと第4負担区が平成7年度に設定されて、その時点では、何年で整備が終わる予定だったのか。	事業認可は5から7年で整備するものとしていましたが、実際には伸びています。	特になし
47	3			・当時の事業管理者は、第4負担区の整備を、平成32年には間違いなく終わらせると言っていた。それが先程の話だと、それすらまたずれなくなったということか。	老朽化対策にも着手する必要があった。維持管理にも力を。少しずつ進めている。	特になし
48	3			・市街化調整区域においては、下水道が通っても通らなくても困らないところもあれば、下水道が通らなければ住むことができない家もある。そういった状況のなか、上下水道局は、いつまでに整備を終わらせるとか、こういう計画でやっていくといった答弁を、議事録にずっと残してきている。そういうところをよく踏まえて、しっかり考えてやってほしい。	未回答	特になし